

子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト
親子ふれあい読書フェスティバル

絵本はともだち

読み聞かせに向く絵本

福島県立図書館



子どもたちと絵本を

～どの子にも いつでも 絵本との出会いを～

子どもたちは

絵本を読んでもらうのが大好き

絵本を読んでもらった記憶は

読んでくれた声や

読んでもらったときのぬくもりとともに

幸せなひとときとして残っていきます

家庭で

幼稚園や保育所などで

学校や図書館で






子どもたちのいる すべてのところで

いつも すてきな絵本との出会いがありますように



このリストに載せた絵本以外にも 子どもたちと楽しむ
絵本がたくさんあります。

ぜひ、図書館でご相談ください。



-  幼児から楽しめる絵本を掲載しました。
-  絵本は、対象年齢別に五十音順で並べました。
-  現在購入できる絵本を選びました。
-  対象年齢や読み聞かせ時間は目安です。
-  巻末に「読み聞かせの参考となる資料」を掲載しました。

【凡 例】

<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">表紙写真</div> <div style="text-align: right; font-size: small;">対象年齢 / 当館請求記号</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 書名 読み聞かせ時間 </div>
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> 著者名 出版社名 出版年 ISBN </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">紹介文</div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">   </div>



マークは少人数で楽しめる絵本です。

マークはビッグブックがある絵本です。



あるのかな

3分

織田道代/作 飯野和好/絵 鈴木出版 1999 978-4-7902-5055-5

「みみずに みみは あるのかな」など、動物や物の名前にかくれている言葉を「あるのかな」と問いかけていく言葉遊びの絵本です。迫力のある絵が楽しく、おはなしかいでは「ある」「ない」と子どもたちの賑やかな声が聞こえてきます。

幼 低 中 高 P/幼



アンディとらいおん

9分

ジェームズ・ドーハーティ/ぶん・え むらおかはなこ/やく 福音館書店 1961 978-4-8340-0003-0

アンディは図書館で借りたライオンの本を読みつけ、おじさんのライオン狩りの話を聞いて、ライオンの夢をみます。翌日、学校へ行く途中、とげが刺さったライオンに出会います。アンディが足のとげを抜いてあげると大喜びで友達になりました。元気なアンディとライオンの楽しい話が抑えた色調で描かれています。

幼 低 中 高 P/ドジ



いたずらこねこ

9分

バーナディン・クック/ぶん レミイ・チャーリップ/え まさきルリ子/やく 福音館書店 1964 978-4-8340-0037-5

小さな池に住む小さなカメのところへ、隣のこねこがやってきます。初めて見るカメをポンとたたくと頭や足をひっこめます。カメの動きに驚いたこねこは、後ずさりして池に落ちてしまいます。全場面が、地面の一本の線と垣根と池で表現されたシンプルな絵で描かれ、いたずらするこねこの表情が楽しい絵本です。

幼 低 中 高 P/フ



いっしょだよ

3分

小寺卓矢/写真・文 アリス館 2012 978-4-7520-0582-7

森の中、生まれたばかりの木の芽はみんなと一緒に、お花も一緒に、葉っぱもきのこもみんな一緒に。木はおひさまと、草は水と一緒に。自然の生き物はみんなつながっています。大きな森や小さな木の芽が美しい写真絵本です。

幼 低 中 高 P/写



おおきなかぶ

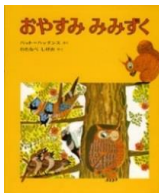
5分

A. トルストイ/再話 佐藤忠良/画 内田莉沙子/訳 福音館書店 1966 978-4-8340-0062-7

おじさんが かぶを うえました。大きくなったかぶを抜こうとしますが一人では抜けません。おばあさんがきても抜けません。まご、いぬ、ねこが手伝っても抜けません。最後にねずみがきて「うんとこしょ どっこいしょ」やつかぶは抜けました。リズムカルな言葉と細部までこだわった絵が楽しい昔話絵本です。

幼 低 中 高 P/好





おやすみみみずく

4分

パット=ハッチンス/さく わたなべしげお/やく 偕成社 1977 978-4-03-201140-1

昼間は眠たいみみずくのそばで、はちがぶんぶん、リスがかりかり、からすがカーカーと次々とやってきては音をたてるので、みみずくは「あーねむたい」。やがて夜になると、眠たいはちやリス、からすなどのそばで今度はみみずくが「ぶつきょっこー」と鳴き、森の鳥たちが「あーねむたい」。明るい色使いの楽しい絵本です。

幼低中高 P/川°

かいじゅうたちのいるところ



モーリス・センダック さく じんぐうてるお/やく

かいじゅうたちのいるところ

6分

モーリス・センダック/さく じんぐうてるお/やく 富山房 1975 978-4-572-00215-0

ある晩、マックスはオオカミのぬいぐるみを着るといたずらを始めて大暴れ、夕ご飯抜きで寝室にほうりこまれます。すると、寝室は次第に森になり波が打ち寄せ、マックスは船に乗ってかいじゅうたちのいるところへ行きます。かいじゅうたちの王様になったマックスは遊び疲れてさびしくなり、やさしいだれかさんが恋しくなります。いたずらっ子のマックスとかいじゅうの世界が画面いっぱい描かれた絵本です。

幼低中高 P/ヒ



かさどろぼう

8分

シビル・ウェッタシンハ/作・絵 いのくまようこ/訳 徳間書店 2007 978-4-19-862337-1

スリランカの小さな村に住むキリ・ママおじさんは初めて町へ行き、カサを知ります。カサを1本買って帰ろうとしますが途中で盗まれてしまいます。何度買ってきても盗まれてしまうので、おじさんはカサ泥棒を探すため細工をします。カラフルな色使いの素朴な絵でおおらかな村の暮らしを伝えます。

幼低中高 P/ウ



かしこいビル

3分

ウィリアム・ニコルソン/さく まつおかきょうこ・よしだしんいち/やく ペンギン社 1982 978-4-89274-021-3

おばさんからの招待状が届き、メリーは荷造りをしてでかけます。ところが、大切な人形のビルを入れ忘れてしまいます。そこでビルは起き上がって、走って走って走ってメリーに追いつきます。子どもにとっての宝物の大切さを愛情たっぷり描いています。

幼低中高 P/コ



かばくん

3分

岸田衿子/さく 中谷千代子/え 福音館書店 1966 978-4-8340-0081-8

動物園に朝がきました。かめを連れた男の子がかばの親子に野菜を持ってきます。ゆったりしたかばくんとかめと男の子の時間が流れます。優しい色使いの動物園の風景とリズムミカルな言葉が心地よい絵本です。

幼低中高 P/子



きよだいな きよだいな

5分



長谷川摂子/作 降矢なな/絵 福音館書店 1994 978-4-8340-1242-2

「あったとさ あったとさ」で始まるリズムで巨大なピアノ、巨大な石けん、次々と巨大なものが出てきて、子どもたちを楽しませます。ダイナミックな構図のおおらかな絵で、子どもたちと声を合わせて楽しめる、夢の中のような絵本です。

幼 低 中 高 P/ワ



クリスティーナとおおきなほこ

9分



パトリシア・リー・ゴーチ/作 ドリス・バーン/絵 おびかゆうこ/訳 偕成社 2014 978-4-03-348300-9

家に届いた大きな冷蔵庫の箱で、クリスティーナはお父さんとお城を作ります。隣の仲良しファッツと工夫しながら大きな箱を秘密基地、レーシングカー、お屋敷の床へと変身させ楽しく遊びます。創造力豊かな子どもたちの遊ぶ力を感じる絵本です。

幼 低 中 高 P/ワ

ぐりとぐら

5分



中川李枝子/さく 大村百合子/絵 福音館書店 1967 978-4-8340-0082-5

のねずみのぐりとぐらが森で大きな卵を見つけます。大きすぎて運ぶことができない卵を野原で料理、家から大きなおなべを持ってきて大きなカステラを作り、森中の動物たちとみんなでおいしくいただけます。明るく元気のよい言葉とかわいい絵が魅力の絵本です。

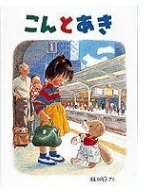
【シリーズあり】

幼 低 中 高 P/ワ



こんとあき

9分



林明子/さく 福音館書店 1989 978-4-8340-0830-2

キツネのぬいぐるみのこんは、あきが生まれた時から一緒です。あきが大きくなるとこんは古びて腕がほころびてしまいました。そこで、治してもらうために電車に乗って、おばあちゃんのところへふたりだけでかかけます。細部まで意味を込めて描かれた絵とこんとあきの優しい思いやりが心に響く絵本です。

幼 低 中 高 P/ワ

サリーのこけももつみ

11分



ロバート・マックロスキー/文・絵 石井桃子/訳 岩波書店 1986 978-4-00-110590-2

山へこけももをつみに行ったサリーは、夢中になって摘んで食べているうちにお母さんとはぐれてしまいます。音のするほうへ行くと、そこにはこぐまとはぐれた母くまがいました。お母さんを取り違えたサリーとこぐまは、あわてて自分のお母さんを探します。ダイナミックな構図の中でサリーとくまの表情が豊かに描かれています。

幼 低 中 高 P/ワ



三びきのやぎの がらがらどん

5分

マーシャ・ブラウン/絵 せたていじ/訳 福音館書店 1965 978-4-8340-0043-6

3びきのやぎの がらがらどんは山へ草を食べにいきます。途中の橋では恐ろしいトロールが待ち構えていてやぎを食べようとします。やぎたちは、それぞれにトロールを言いくるめ、一番おおきいやぎの がらがらどんは谷川へ突き落とします。力強い絵がお話の世界を伝えます。

幼 低 中 高 P/ア*マ



しょうぼうじどうしゃ じぶた

7分

渡辺茂男/さく 山本忠敬/え 福音館書店 1966 978-4-8340-0060-3

ジープを改良した消防自動車のじぶたは、小さいので大きな火事やビルの火事では出番がありません。ある日、隣の山小屋で火事が起きました。大きな消防車が通れない山道のためじぶたが出動し、大活躍で山火事にならずにすみしました。正確な描写と小さな主人公の活躍がうれしい絵本です。

幼 低 中 高 P/ヤ*



すてきな三にんぐみ

5分

トミー= アンゲラー/さく いまえよしとも/やく 偕成社 1969 978-4-03-327020-3

3人組の怖いどろぼうたちは、3つの道具を使い、たくさんの財宝を隠し持っています。ある日襲った馬車から連れてきたティファニーちゃんに、財宝をどうするか聞かれた3人は身寄りのない子どもたちを集めて一緒に暮らすことにします。怖い暗い始まりですが、後半は3人組の優しい心が伝わってきます。

幼 低 中 高 P/ア*



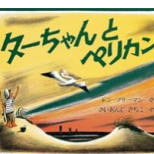
せんたくかあちゃん

6分

さとうわきこ/さく・え 福音館書店 1982 978-4-8340-0897-5

洗濯が大好きなかあちゃんは何でも洗ってしまいます。服だけではなく、家中のものを何もかも洗濯して干してしまうと、空から落ちてきたかみなりさまも、ごしごし洗って干してしまいます。思いがけない展開と隅々まで楽しい絵が人気の絵本です。【続編あり】

幼 低 中 高 P/ウ*



ターちゃん と ペリカン

7分

ドン・フリーマン/さく さいおんじさちこ/やく ほるぶ出版 1975 978-4-593-50007-9

ターちゃんは毎年、夏休みに両親と海辺でキャンプをします。去年出会ったペリカンと再会し、魚釣りを始めます。いつのまにか満ち潮になり、流されてしまった長靴を、ペリカンが探してくれます。静かな浜辺、穏やかな一日をターちゃん と ペリカン が共有する作品です。

幼 低 中 高 P/ア*

だいくとおにろく

6分



松居直/再話 赤羽末吉/画 福音館書店 1967 978-4-8340-0085-6

流れの速い大きな川に橋をかけてくれと頼まれた大工が、川辺で思案しているときと鬼が現れました。鬼は橋をかけてやるかわりに目玉をよこせと言ひ、橋を作りました。鬼の名前を当てれば許すと言われ、大工が山や谷をあてどなく歩いていると、歌が聞こえてきます。カラーとモノクロで書き分けられた昔話絵本です。

幼 低 中 高 P/ア

だるまちゃんとてんぐちゃん

6分



加古里子/さく・え 福音館書店 1967 978-4-8340-0124-2

だるまちゃんは、てんぐちゃんのうちわがうらやましくて欲しくなりました。てんぐちゃんのうちわに似たものをだるまだんが出してくれますが、どれもちょっと違います。子どもらしい発想で欲しいものをみつけるだるまちゃん、たくさん品物がユーモラスに描かれた楽しい絵本です。【シリーズあり】

幼 低 中 高 P/か

つきのぼうや

6分



イブ・スピング・オルセン/さく・え やまのうちきよ/やく 福音館書店 1975 978-4-8340-0456-4

月が、池にうつった月を見て「あのつきをつれてきてくれないか」と月のぼうやに頼みます。ぼうやは雲を抜け飛行機や鳥の群れなどすれ違いながら、下へ下へと降りていきます。縦長の楽しい絵や一つ一つの表情が魅力の作品です。

幼 低 中 高 P/材

てぶくろ

4分



エウゲーニー・M.ラチョフ/え うちだりさこ/やく 福音館書店 1965 978-4-8340-0050-4

おじいさんが落としててぶくろにネズミは住むことになりました。そこへかえる、うさぎ、きつねなど次々と動物が「入れて」とやってきます。とうとうくままで入り込み、ぎゅうぎゅうづめではじけそうです。動物たちの表情や衣装など隅々まで楽しめる絵本です。

幼 低 中 高 P/江

としょかんライオン

13分



ミシェル・ヌドセン/さく ケビン・ホークス/え 福本友美子/やく 岩崎書店 2007 978-4-265-06817-3

図書館にライオンがやってきました。館長のメリウエザーさんは、きまりさえ守れば誰でも好きなときに図書館を利用できると迎えます。ライオンは手伝いをしながら図書館を利用するようになりますが、メリウエザー館長を助けるためにきまりを破ってしまいます。優しい色使いの絵と素敵な図書館の絵本です。

幼 低 中 高 P/杓

どろんこハリー



どろんこハリー

6分

ジーン・ジオン/ぶん マーガレット・プロイ・グレアム/え わたなべしげお/やく 福音館書店 1964 978-4-8340-0020-7

黒いぶちのある白い犬ハリーはお風呂が大好き。お風呂にお湯を入れる音が聞こえると、体を洗うブラシを裏庭に埋めて外へ抜け出します。まっくろ泥んこになるまで遊んでハリーが家に帰ると、家族は誰もハリーだときづいてくれません。そこでハリーは隠しておいたブラシを掘り出してお風呂へ。はっきりした色使いで遠目のきくシンプルな絵とリズムのある文章で、ハリーと一緒に大冒険を味わえる絵本です。【シリーズあり】

幼低中高 P/ガマ



はらぺこあおむし

3分

エリック・カール/さく もりひさし/やく 偕成社 1976 978-4-03-328010-3

葉っぱの上のちいさな卵から生まれたちいさなあおむしは、おなががべっこべこ。毎日たくさん食べて大きなあおむしになり、さなぎになり、美しい蝶に変身します。カラフルでおいしそうな食べ物をどんどん食べて大きくなるあおむしとリズムカルな言葉が楽しい絵本です。

幼低中高 P/加



ピーターのいす

4分

エズラ=ジャック=キーツ/さく きじまはじめ/やく 偕成社 1969 978-4-03-328060-8

ピーターに妹が生まれました。大きな音をたてて遊ぶとしかられ、ピーターの赤ちゃん用のベッドや食事用の椅子は妹用にピンクに塗り替えられてしまいました。ピーターは小さな椅子を持って家出しますが、椅子に座ってみると小さすぎて座れないことにきづきます。兄になったピーターの成長がコラージュ（はりえ）で描かれています。

幼低中高 P/柱

まあちゃんのながいかみ

5分

たかどのほうこ/さく 福音館書店 1995 978-4-8340-1330-6



おかつぱ頭のまあちゃんは、髪の毛の長い友達に「これから髪を伸ばす」と宣言します。髪が長くなったら髪を魚釣りの糸にしたり、髪で洗濯物を干したり、便利で素敵なお話がたくさんあります。すてきなまあちゃんの空想が楽しい絵本です。【シリーズあり】

幼低中高 P/外



むらの英雄 エチオピアのむかしばなし

7分

わたなべしげお/文 にしむらしげお/絵 瑞雲舎 2013 978-4-916016-97-3

隣村へ行った12人の村人が帰り道で人数を数えてみると11人しかいません。自分を数え忘れて、ひとりがトラに食われてしまったと思い込み嘆き悲しみます。村へ帰ると、小さな女の子が12人いることに気がきます。ひとりでトラと戦い、退治して帰ってきた幻の勇者の昔話です。迫力のある絵と可笑しみのある内容の絵本です。

幼低中高 P/こ



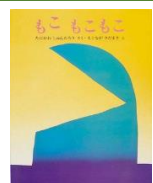
めのまどあける

5分

谷川俊太郎/ぶん 長新太/え 福音館書店 1984 978-4-8340-0965-1

「めのまどあける おひさままってるぞ」ではじまる幼児向け詩の絵本です。リズムのある言葉とシンプルの中に躍動感のある絵が楽しい作品です。子どもたちと声を出して楽しめる言葉遊びができる元気な絵本です。

幼 低 中 高 P/少



もこもこもこ

2分

たにかわしゅんたろう/さく もとながさだまさ/え 文研出版 1982 978-4-580-81395-3

「もこ」「もこもこ」と不思議なものが動きだします。抽象的な絵と言葉が子どもたちの想像力をかきたてる絵本です。何かに見えたり、見えなかったり、一人一人が自由に楽しむことのできる作品です。

幼 低 中 高 P/少



もりのなか

6分

マリー・ホール・エッツ/ぶん・え まさきりこ/やく 福音館書店 1963 978-4-8340-0016-0

ぼくは紙の帽子をかぶり、ラッパを持って森へ散歩に行きます。ラッパの音にらいおんやぞう、くまやカンガルーたちが行進についてきます。森の中で動物たちと遊び、かくれんぼをしているところへお父さんが迎えに来ます。モノクロの絵の中から色彩がうかび、笑い声が聞こえてくる絵本です。【続編あり】

幼 低 中 高 P/少



よかったね ネットくん

4分

レミー・シャーリップ/さく やぎたよしこ/やく 偕成社 2003 978-4-03-201430-3

びっくりパーティーによばれたネットくん。パーティー会場に着くまでにたくさんの災難とたくさんの幸運にあい、「たいへん！」と「よかった」の繰り返し楽しい絵本です。「よかった」場面はカラーで「たいへん」の場面はモノクロで描かれ、子どもたちをひきつけます。

幼 低 中 高 P/少



げんきなマドレーヌ

5分

ルドウィッチ・ベームルマンス/作・画 瀬田貞二/訳 福音館書店 1972 978-4-8340-0362-8

古い屋敷に女の子12人で暮らす元気なマドレーヌは、毎日規則正しい生活をしています。ある夜、マドレーヌはおなかが痛くなって入院手術します。病院の入院生活も楽しく過ごし、お見舞いに来た友だちもうらやむほです。少女たちの表情や動きのある絵で、テンポよくお話が進みます。【シリーズあり】

幼 低 中 高 P/パル



しまふくろうのみずうみ

7分

手島圭三郎/絵・文 絵本塾出版 2015 978-4-86484-064-4

北海道の深い山奥の湖で、夜になるとしまふくろうの親子が魚を捕りにあられます。子どものために狩りをする親ふくろう、張り詰めた空気と静かな山の湖の情景が美しい版画で描かれています。【シリーズあり】

幼 低 中 高 P/テ



ちいさいおうち

13分

バージニア・リー・バートン/ぶんとな え いしいももこ/やく 岩波書店 1965 978-4-00-110553-7

ちいさいおうちは静かな丘の上で木や小鳥や空を眺めながら暮らしていました。ところが、道路ができ車が走り電車が走るようになり、大きな建物が建つようになると、ちいさいおうちのまわりは賑やかな都会になっていきました。ちいさいおうちは静かな生活を懐かしみ、ある日、田舎に帰る夢がかないます。一つ一つの絵に物語がある美しい絵本です。

幼 低 中 高 P/バハ



チムとゆうかんなせんちょうさん

12分

エドワード・アーディゾーニ/さく せたていじ/やく 福音館書店 1963 978-4-8340-1711-3

船乗りにあこがれていたチムは両親に内緒で汽船に乗り込み、船員として働き始めます。陽気な仲間と経験豊富な船長さんのもと、チムは一生懸命働き、少しずつ認められるようになります。そんな時、嵐で船が沈みかかりますが、最後まで船を守る船長の船乗り魂に心を動かされます。柔らかい色使いと細部まで丁寧に描かれた絵、チムと船乗りたちの楽しい会話なども楽しめる絵本です。

幼 低 中 高 P/PI



トラのじゅうたんになりたかったトラ

7分

ジェラルド・ローズ/文・絵 ふしみみさを/訳 岩波書店 2011 978-4-00-111226-9

インドのジャングルで年老いて獲物を取れず痩せ衰えたトラがいました。トラは宮殿のトラのじゅうたんになりすまし、昼間は動かず夜はごちそうを食べて暮らします。ある日、宮殿に入った泥棒から王様を助けたことで、トラは宮殿に迎えられ幸せに暮らします。ジャングルの描写や宮殿の様子など賑やかに楽しく描かれた絵がお話を面白くしています。

幼 低 中 高



ハンダのびっくりプレゼント

3分

アイリーン・ブラウン/作 福本友美子/訳 光村教育図書 2006 978-4-89572-651-1

ハンダは友だちのアケヨにあげるために7つの果物をかごに入れ、頭にのせて出かけます。アケヨはどの果物が好きかなと考えながら歩いていくと、次々と動物たちが果物を取ってしまいます。最後にヤギがかけてきてミカンの木にぶつかると、ハンダからアケヨへのびっくりプレゼントになりました。鮮やかな色使いの絵がお話を伝える楽しい絵本です。

幼 低 中 高 P/ア



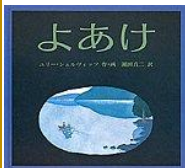
ペレのあたらしいふく

5分

エルサ・ベスコフ/さく・え おのでらゆりこ/やく 福音館書店 1976 978-4-8340-0462-5

新しい服をつくるため、ペレは飼っている羊の毛を刈ります。毛をすき糸を紡ぎ色を染め布に織り服を縫うまで、ペレは仕事を手伝うことでおばあさんや周りの大人に仕事を頼みます。こうして新しい服ができあがりました。新しい服を着たペレの得意そうな顔がいとおしい絵本です。

幼 低 中高 P/ハ/E



よあけ

4分

ユリー・シュルヴィッツ/作・画 瀬田貞二/訳 福音館書店 1977 978-4-8340-0548-6

山の中の湖のほとり、おじさんと男の子が木の下で眠っています。静かに時間が流れ夜明けを待つとき、二人は目覚め湖へこぎ出します。その時、朝の光が差し込み山と湖がみどりになります。短い言葉と徐々に明るくなっていく色彩の中に自然への敬意が感じられます。

幼 低 中高 P/シ



あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま

9分

イ・ヨンギョン/ぶん・え かみやにじ/やく 福音館書店 1999 978-4-8340-1633-8

針仕事の上手なあかてぬぐいのおくさんには7人の仲間がいます。ものさし、はさみ、針、糸、指ぬき、のしごて、ひのし、それぞれ自分が一番役に立つと言いあそびます。本当は全員がそれぞれ大切、なくてはならない仲間なのです。柔らかな色使いと豊かな表情が楽しい絵本です。

幼 低 中高 P/仔



ウルスリのすず

12分

ゼリーナ・ヘンツ/文 アロイス・カリジェ/絵 大塚勇三/訳 岩波書店 1973 978-4-00-110565-0

ウルスリは高い山々の奥に住む小さな男の子。鈴行列のお祭りに使う大きな鈴が欲しくて遠い山小屋へ一人で取りにでかけます。みんなが心配する中、誰よりも大きなすずを持って帰り、行列の先頭を歩きます。山の暮らしやお祭りが抑えた色調で描かれた絵本です。

幼 低 中高 P/ワ



おおきくなりすぎたくま

11分

リンド・ワード/文・画 渡辺茂男/訳 ほるぷ出版 1985 978-4-593-56123-0

ある日、ジョニーはくまの毛皮が欲しくて森に行くと、こぐまに出会います。うちに連れて帰ると、こぐまは何でも食べてどんどん大きくなりました。台所を荒らし、近所の作物を食べてしまいます。そこで野生に返すため遠くの森に連れていきましたが、すぐに帰ってきてしまいます。力強いモノクロの絵で動物や生活の様子が描かれています。

幼 低 中高 P/ガ

かあさんのいす

10分



ベラ・B.ウィリアムズ/作・絵 佐野洋子/訳 あかね書房 1984 978-4-251-00508-3

かあさんとおばあちゃんと三人で暮らすわたし。火事で失ったお気に入りの椅子を買うため、かあさんは働き、おばあちゃんと私は節約しながら貯金します。とうとう貯金箱がいっぱいになり、一日中働かかあさんがゆっくりできる椅子を買いに行きました。家族や親せき、近所の人たちとの交流も描かれた色彩豊かな絵本です。

幼低中高 P/か*

木はいいなあ

5分



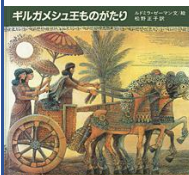
ジャニス・メイ・ユードリイ/さく マーク・シーモント/え さいおんじさちこ/やく 偕成社 1976 978-4-03-327090-6

「木がたくさんあるのはいいな」木があれば登って遊び、木陰で休み、落ち葉を集めてたき火をしたり木の実を取ったりできます。木があれば夏でも涼しく過ごせたり、嵐から家を守ってくれたりもします。だからぼくは木を植えて育てます。自然の中で暮らす喜びを簡潔な言葉で伝え、それを絵が素直に表現している絵本です。

幼低中高 P/す*

ギルガメシュ王ものがたり

14分



ルドミラ・ゼーマン/文・絵 松野正子/訳 岩波書店 1993 978-4-00-110617-6

人間の心とはどのようなものなのかを知らないギルガメシュ王は、自分の国の強さを見せつけるため、人々に命じて城の周りに高い城壁をつくらせます。疲弊した人々を救うために太陽神が遣わしたエンキドゥと戦い、ギルガメシュ王が助けられたことから、二人に友情が芽生えます。世界最古の叙事詩が重厚な絵で語られます。【続編あり】

幼低中高 P/セ*

じごくのそうべえ 桂米朝・上方落語・地獄八景より

11分



たじまゆきひこ/作 童心社 1978 978-4-494-01203-9

軽業師のそうべえが綱から落ちて死にました。三途の川の手前で出会った歯医者や医者、山伏と一緒に地獄へ送られてしまいますが、それぞれが特技を生かし、知恵と技で鬼をやっつけ苦難を乗り越え、とうとう最後は地獄を追い出されて生き返ります。落語を絵本にした迫力のある作品です。【続編あり】

幼低中高 P/じ*

モチモチの木

10分



斎藤隆介/作 滝平二郎/絵 岩崎書店 1971 978-4-265-90906-3

峠の猟師小屋でじさまと二人で暮らす豆太は、夜中ひとりでおしっこにも行けないほど臆病です。ある晩、大好きなじさまが病気になる、医者を迎えに行くため豆太は一人で霜の降りた夜道を走ります。医者さまと小屋に戻ると、豆太の勇気をたたえるようにモチモチの木が明るく空を照らしました。味わい深い切り絵の絵本です。

幼低中高 P/た*



読み聞かせの参考となる資料リスト

絵本論 瀬田貞二子どもの本評論集	J019.5/t
瀬田貞二/著 福音館書店 1985 978-4-8340-0411-3	
藤田浩子の絵本は育児書	J019.53/7
藤田浩子/著 アイ企画 2013 978-4-88259-153-5	
えほんのせかい こどものせかい	J019.53/r
松岡享子/著 日本エディタースクール出版部 1987 978-4-88888-125-8	
心に緑の種をまく (岩波現代文庫)	J019.53/7
渡辺茂男/著 岩波書店 2016 978-4-00-602277-8	
子どもの育ちを支える絵本	J019.53/7
脇明子/著 岩波書店 2011 978-4-00-022912-8	
絵本の庭へ 児童図書館基本蔵書目録 1	J028.09/t
東京子ども図書館/編刊 2012 978-4-88569-199-7	
センス・オブ・ワンダー	J934/カ
レイチェル・カーソン/著 上遠恵子/訳 新潮社 1996 978-4-10-519702-5	

福島県は「福島県子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、子どもたちの読書を支援する活動を実施しています。また、県内の公共図書館や関連施設と連携を取り、子どもたちが楽しい本、心に響く本、未来に夢を持つことのできる本に出会う機会を提供しています。

福島県立図書館では、子どもの読書活動を支援する活動として、直接来館した親子への図書の貸出や読書相談に加えて、市町村立図書館、公民館図書室、学校図書館やボランティアへ資料や情報を提供しています。

心を育て、未来への扉を開く素敵な本との出会いを

子どもたちへ！





福島県立図書館おはなしかいの様子

子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト
親子ふれあい読書フェスティバル

絵本はともだち 読み聞かせに向く絵本

平成28(2016)年11月19日発行

編集発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

FAX 024-536-4787

<https://www.library.fks.ed.jp>

